

専門ゼミB		演習	教授 吉田 一康	
科目カテゴリー	スポーツマネジメントコースの必修科目、スポーツトレーナーコースの必修科目	科目ナンバリング	11130302	

1. テーマ

国際取引法の基本事項を理解することをテーマとします。そのために、法律の基本から学び、また国際取引法とスポーツの関係に着目して、スポーツ仲裁や移籍規定などのスポーツ法についても説明し、国際的な視野を身に着けることを講義の目標とします。

2. ゼミのねらい・概要

現在、デパートやスーパーで買い物をするときに、商品の原産地や製造地を意識して見てみると分かると思いますが、今や「made in Japan」の商品の方が少ないかもしれません。多くの商品が、国際取引を通じて外国から輸入されたものです。「国際取引法」は、そのような国際取引に関する法律の総称です。

その国際取引法の基本事項を理解することをゼミの目標とします。また、海外旅行などに関する法律や、国際取引法とスポーツの関係に着目して、プロスポーツ選手などの海外チームへの移籍に関する規定やスポーツ仲裁などのスポーツ法についても説明します。就職対策として、面接対策や国際事情・常識問題などを行います。

3. ゼミ計画

1. 前期の復習など	9. 小試験
2. 国際裁判管轄（裁判を行う権限）	10. インコタームズ（定型取引条件）
3. 小試験	11. 国際海上運送
4. 輸出通関（通関士）	12. グループ学習（就職対策）
5. 輸入通関（関税，ワシントン条約）	13. 各国の食事のタブー
6. グループ学習（就職対策）	14. 国際投資（M&A）
7. 国際商事仲裁（調停と仲裁）	15. 後期まとめ・小試験
8. スポーツ仲裁（スポーツ仲裁裁判所）	

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

各講義の内容に係る参考文献の該当箇所を読んでくること（1時間程度）。講義後、授業内容や小試験の内容を復習して、解答を理解しておくこと（1時間程度）。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

- ①各講義で行う練習問題の後に、解答及び説明を行います。 ②小試験後、解答及び説明を行います。

6. ゼミにおける学修の到達目標

- ①国際取引法の基本を理解して国際感覚を磨くこと。 ②スポーツ法の基本を理解すること。

7. 成績評価の方法・基準

平常点 70～80%（積極性、小試験など）+ 授業への取組み姿勢（授業への貢献度、発表など） 20～30%

A 80点以上 B 70～79点 C 60～69点 D（不可）60点未満

8. テキスト・参考文献

毎回、必要資料を配布し、テキストは使用しませんので、特に購入する必要はありません。自習のための参考文献として下記のものを挙げます。

①佐野寛『国際取引法』（第4版）有斐閣 2014年（2750円）

②浦川道太郎他，日本スポーツ法学会監修『標準テキスト スポーツ法学』（第3版）エイデル研究所 2020年（2750円）

9. 受講上の留意事項

私語・態度不良など他の受講者の迷惑となる行為や、遅刻・中途退席などの目立つ受講者については、評価を減点又は受講を制限します。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当する。本授業は、不動産会社等における法務の実務経験を活かして指導する。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。